学習ガイドブック

スタディボックス講座

▲英語の先生　小池 和子　　▲ジョニー

■イングリッシュコース■

もくじ

これがスタディボックス講座　イングリッシュコースだ!! ……………2

①きみにこれがとどく

②毎号の内ようはこうなっている

③1年間でこれだけのことを学習する

さあ，学習を始めよう！ ……………………………4

①コントローラの使い方

②よく使うそうさの仕方

③テープをスタートさせよう

④学習の終わり方

学習のこころえ ………8

おうちの方へ　監修の言葉 …………9

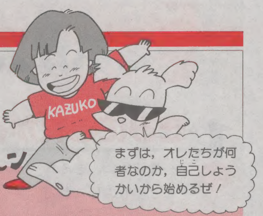
こんにちは。きょうからきみもくスるなかまだね。〈スタディボックス〉この学習ガイドブックはしっかり

はじめまして。わたしが小池。

小池和子
おうし座
まれ。おじ
て，しとや
っ」「うるさ
下品な言葉
ない。とに
すきなもの

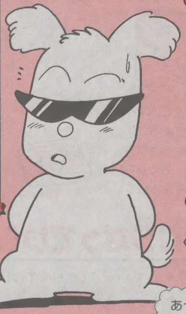
〈本当の小池先生〉
わがまま。口が悪い。つごう
ねたふりをする。自分を「おじ

タディボックス〉で英語を学習す
でばっちり学習してもらうために，
読んでほしいな。

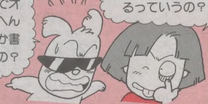


おれがジョニーだ！

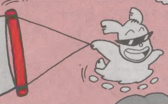
5月13日生まれ
B型　新潟県生
ょう様とよばれ
かに育った。「げ
い」とかいうお
は使ったことが
かくかわいい。
はダチョウ。



Johnny　たん生日？
血えき型？　アメリカに生まれ，すぐ日本に来た。いつもサングラスをかけている。かっこつけたがりや。おまけに，わがまま。食べることが大すき。



の悪いことはごまかす。
ょう様」と思いこんでいる。



いよいよ
イングリッシュコースのすべてがわかる

これがスタディボックス講座

1 きみにこれがとどく

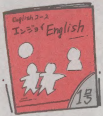
一番初めに，きみにとどくものはこれだ。

全部ちゃんとあるかな？

●「エンジョイ English スタート号」

英語の学習を初めてするきとく別に作った「スタートABCのことがよくわかるなるよ。

●「エンジョイ English 1号」

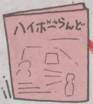


テキスト：テープでの学習の仕方の説明があったり，テープで学習したことをまとめるコーナーがあるわ。

テープ：これで新しく習う英語の学習をするよ。

毎号1つずつ英語の力がつくように学習していくよ。1号から順番に，毎月送られていく。

●「ハイホーらんど」



きみのお便りで作る，イングリッシュコースなかまのネットワーク誌。とく集やお便りコーナーで，おもしろさいっぱい！

2 毎号の内ようはこうなっている

テープとテキストは5UNITに分かれている。（※UNIT（ユニット）とは，1日分の学習のことをいいます。）

UNIT	学習の内よう
1·2	この号で新しく習う英語の学習を行う。
3	「チェックテスト」：UNIT1·2でついた力を試すテスト。
4	「GOLD TOMAHAWK」：今まで学習した力をすべて使って，きみがといてくロールプレイングゲーム。12号物語が続いていく。
5	「パワーアップ」：ちょっとむずかしい英語や外国のクイズ。

注）ただし，「エンジョイEnglish スタート号」は，UNIT1·2のみ。

1UNITにかかる時間は20〜30分。1日1UNITを学習のめやすにして，計画を立てて学習を進めようね。

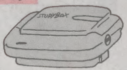
チェックテストやGOLD TOMAHAWKは，テープでよく学習してから力試しのつもりでやろうぜ！きみの実力がバッチリわかるぜ！

イングリッシュコースだ!!

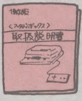
みに,
号」だ。
ように

この他にこれも使うよ。

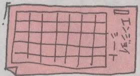
●専用ハード〈スタディボックス〉



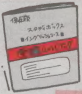
●「スタディボックス 取扱説明書」



〈スタディボックス〉の取り付け方や,使い方・注意が書かれている。
取り付ける前に,
よく読んでね。



●「イングリッシュコース 受講ルールブック」



学費やスタディボックス講座への問い合わせ方法などが書かれている。おうちの人に読んでもらってね。

●「エンジョイシート」

1UNIT終わるごとにシールをはっていく紙。毎号の学習の進みぐあいが一目でわかる。

●「イングリッシュコース学習ガイドブック」

今読んでいるこの本。イングリッシュコースの学習の進め方が書かれている。

次回からは,「エンジョイ English」テープ1本・テキスト1さつ,「ハイホーらんど」1さつがきみのもとに送られていくよ。

1年間でこれだけのことを学習する

号	タイトル
1	自分の名前が言えるようになろう
2	自分の気持ちや考えが言えるようになろう
3	道を聞くときには　どう言ったらいいのかな
4	何を買いたいのか言えるようになろう
5	自分が今何をしているのか言えるようになろう
6	自分のほしいもの・すきなものが言えるようになろう
7	ものをたずねるときには　どう言ったらいいのかな
8	ぐあいが悪いところを言えるようになろう
9	電話で話したい人をよぶときには　どう言ったらいいのかな
10	パーティーにさそうときには　どう言ったらいいのかな
11	「おめでとう」「すごい」が言えるようになろう
12	手紙が出せるようになろう

12号全部終わると,なんと中学2年生のおにいさん・おねえさんと同じくらいの力がつくのよ!

とにかく続けて学習することが大切だぜ!

それじゃー

「学習を始めよう!」へ

さあ，学習

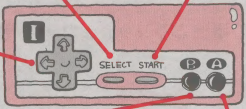
1 コントローラの使い方

●コントローラのボタンの名前と主なはたらきはこうなっている。

セレクトボタン：今のそうさをやめて，次に進みたいときに使う。

スタートボタン：ゲームなどをスタートさせるときに使う。

✚ボタン：何かを選(えら)んだり動かしたりするときに使う。



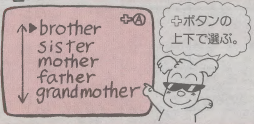
Ⓑボタン：前のそうさにもどるときに使う。

Ⓐボタン：決めるときに使う。

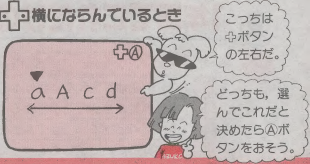
2 よく使うそうさの仕方

●選ぶ。

✚たてにならんでいるとき



✚横にならんでいるとき

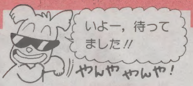


ちょっと待って！ 学習を始める前に…

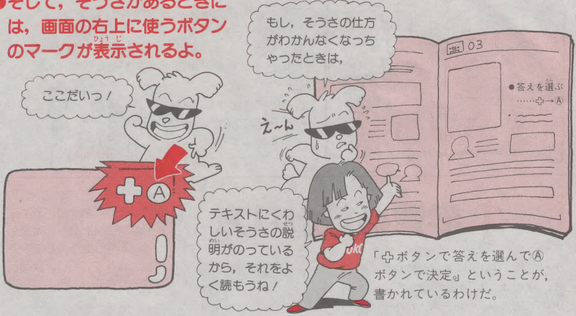
もう「取扱説明書(とりあつかいせつめいしょ)」は読んだかな。おうちの人にもよく読んでもらって，〈スタディリーコンピュータに取り付けるときは，「取扱めながら，おうちの人といっしょにやろうね。「取扱説明書」に書いてある内ようは，とてんで〈スタディボックス〉を大切にあつかってね。

ファミリー コンピュータ・ファミコンは，任天堂の商標です。

を始めよう!

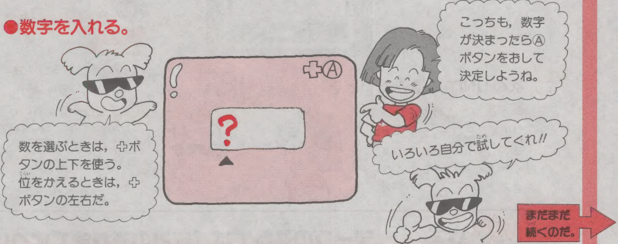


●そして，そうさがあるときには，画面の右上に使うボタンのマークが表示されるよ。



「✚ボタンで答えを選んでⒶボタンで決定」ということが，書かれているわけだ。

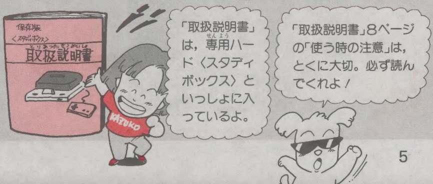
●数字を入れる。



まだまだ続くのだ。

ィボックス〉をファミ
説明書」をよくたしか

も大切なので，必ず読



3 テープをスタートさせよう

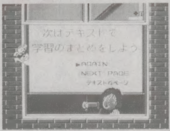
●まず学習したいテープページをテキストでかくにんしよう。

テープにも本のように2ページ・3ページという
ページ数があるのよ。このページ数はテキストに
書いてあるから，どこから学習したいのか学習し
たいページ数をテキストでまずたしかめてね。

初めて学習するときは，一番初めの01ページから始めようね。

4 学習の終わり方

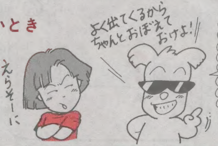
テープで1UNITの学習が終わると，次のような画面になって，UNITごとにメッセージがそれぞれ出るよ。



メッセージどおりに，テキストで学習のまとめ・ふく習・かくにんをしたら，1UNITの学習はすべて終わり。次にどうするかを決めよう。

2）次のUNITに進みたいとき

✚ボタンとⒶボタンで「NEXT PAGE」を選ぶと，次のUNITに進む。そのまま学習を続けることができるよ。

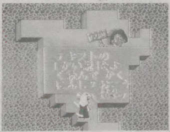


「AGAIN（アゲイン）」は「もう一度」,「NEXT PAGE（ネクストページ）」は「次に進む」という意味なんだぜ。

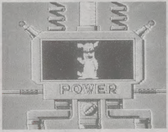
それから　テープの最後では「きみのそれまでについた

UNIT5の終わり

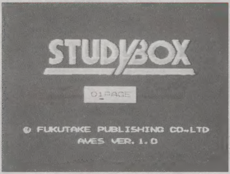
メッセージが出る。



そのまま画面が変わって力がわかる。

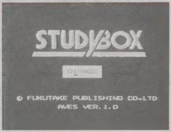


●そしてテープページを入力して学習スタート。

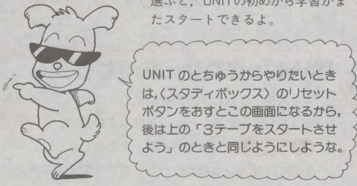


テープを〈スタディボックス〉にセットすると，左のような画面になるよ。✚ボタンとⒶボタンでページ数を入力してテープをスタートさせよう。

1）もう一度そのUNITをやりたいとき



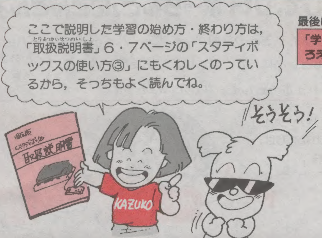
✚ボタンとⒶボタンで「AGAIN」を選ぶと，UNITの初めから学習がまたスタートできるよ。



3）これで学習をやめたいとき

ファミリーコンピュータのスイッチをOFF(切)にしてから，テープを取り出そう。

えいご
英語の力」がわかる!!



最後に

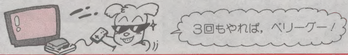
「学習のこころえ」だ！

学習のこころえ　英語(えいご)をきみのものにするために次のことを守ろう！

1 まずテープでとことん学習しよう！

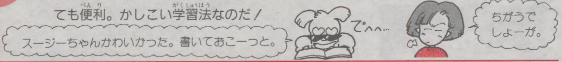
英語の言い方や使い方とかの大切な学習は，全部テープでやる。だからまずテープから学習を始めよう。テープのまねをして，**大きな声**で言ってみるのが，コツ!!

テープの学習が終わったら，わかったと思ったところでも何度でも**くり返して**学習しよう。完全(かんぜん)にマスターするまでやるのも，コツ！



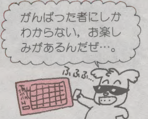
2 テープの学習が終わったら，テキストで学習のまとめをしよう！

テープで学習したことをテキストにちゃんと**まとめ**ておけば，見直すときにとても便利(べんり)。かしこい学習法(がくしゅうほう)なのだ！



3 「がんばったねシール」をはろう！

テキストで学習のまとめをしたら，「エンジョイシート」に「がんばったねシール」をはりながら楽しく**学習の記録(きろく)**をつけてしまう。またまたかしこい学習法なのだ。「がんばったねシール」は各号のテキストの初(はじ)めのほうについているよ。1UNITごとにはっていこう！

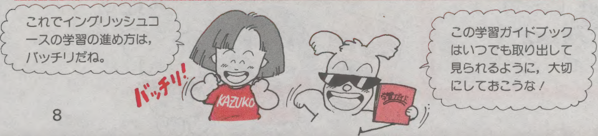


※)「エンジョイ English スタート号」にはありません。

4 おぼえた英語はとにかく使ってみよう！

5 そして，「ハイホーらんど」にどんどんお便(たよ)りを送ろう！

積極的(せっきょくてき)なきみの参加(さんか)が，あすの「ハイホーらんど」を作る!! 楽しい絵やお便りを送って，「ハイホーらんど」なかまになろう！



おうちの方へ

監修の言葉

ゲーム感覚で楽しく学び，英語をどんどん使って覚えてしまおう！

“This is a pen.”という文が，英語を学び始める早い時期に教えられる例文の１つだということは，文型という文法の基礎を教えるのにとてもわかりやすい，という理由からです。ところが，コミュニケーションの必要から考えますと，日常生活の場面で実際にこの文が使われるようなことはほとんどない，といっていいでしょう。“This is a pen.”ではなくて，“This is Johnny.”という文を使って，初対面の相手の人に名前を紹介するというような場面を実際に作り出す，というはたらきを果たすのが，英語学習に一番たいせつな「機能」という要素なのです。

語彙（単語の集まり）・文法・音声（発音）という，言葉を組み立てている３つの要素が英語の学習にとって大切であることはいうまでもありませんが，情報時代に必要なコミュニケーションとしての英語（情報伝達のための英語力）を身につけることを目標と考えているこのイングリッシュコースは，これまでとちがって「機能」中心の教材構成で，実際の日常生活でコミュニケーションに必要ないろいろな場面や状況を作り出し，その中で英語の話し方を練習し，その場面や状況に応じて必要な語彙・文法・音声を総合的に学習できるようにしてあります。

そして，１つ１つの「機能」はばらばらのものとしてではなく，それぞれが前後のつながりをもつように，ラセン状（渦巻式）につながる構成になっています。そのため，新しい「機能」を学習するときに，必ずその前の「機能」で学習した項目が含まれているので，絶えず前の復習をしながら新しいことの学習に進むしくみになっています。

さらに，１つ１つの「機能」の学習場面では，これだけは必ず覚えて実際に使えるようになるまで学習させたい，という必要最小限の内容が押さえられています。ですから，誰もが無理なく到達できる目標であると考えて，学習の一応の目安としていただくといいと思います。その目標が１つ１つ達成されて積み重ねられていくと，必ず場面場面に応じて自在な話し方ができるようになる，という自信を子どもにもたせるようにしていただきたいのです。

また，この教材の大きな特長として，それぞれの学習の場面で子どもが自分で方法を選んで試し，その結果を自分で確かめながらまた次の課題に挑戦することができるということを挙げることができます。ゲーム感覚を十分に活用しながら学習を進めることができるので，次々と新しい興味がよび起こされ，それに支えられて学習が展開・発展し継続していく。そうしているうちに，子どもは知らず知らず「英語の学習はこうしてやるものなのだ」という学習の手だてを自分で身につけていきます。おうちの方には英語学習にとって最大のまた究極の目標である，この「英語はこのようにして学習すればいいのだ」という態度を着々と身につけていく子どもの成長の姿を見守っていただきたいと思います。

短い時間でもいいから休まずに必ず毎日続けて学習することが，平凡なようでまた意外にも難しいことかも知れません。“Slow But Steady!” 着実に一歩ずつ積み重ねていくこと，この古い格言は今でも健在です。

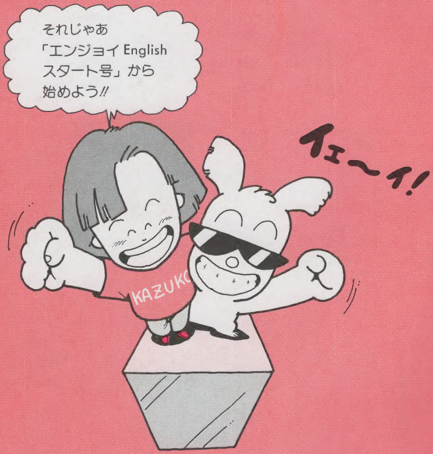
■森口　隆（もりぐち　たかし）

1924年，神戸生まれ。早稲田大学卒業。小学校での児童英語教育に携わる仲間たちと，長年にわたって実践・研究活動に従事した後，当時から兼任していた明星大学で現在教えている。1970〜71年，スウェーデン・ルント大学でマルンベリー教授から「音声学」を，スヴァトヴィック教授から「社会言語学」の指導を受け，以降毎年海外に出かけて，英語教育・英語学の研修を続けている。

現在，国際音声学会・日本支部，及び国際生涯教育研究会でそれぞれ運営委員を務める。

主な著作に『英語』「学習総合大事典　スクールユニバース　第14巻」（講談社），訳書に「American Start with English 指導ハンドブック　1〜3」（オックスフォード大学出版局）などがある。

10C202



※「エンジョイ English　スタート号」の学習が終わってから,「1号」の学習に進んでね。

福武書店　スタディボックス講座